

△ この取扱説明書はいつでもご覧いただけるように大切に保存してください。
ご使用にあたってのご注意(一部仕様の異なる器具があります。)⑦

保存用

◆品番・製造年月は器具銘板に記載されています。
ランプの種類は器具のランプシールをご確認ください。
交換用のランプは器具の指定のものを必ず
ご使用ください。

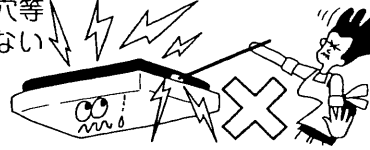
○器具を改造したり、部品を
追加・変更して使用しない
でください。



感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。

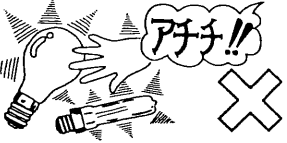
○器具やランプを布や紙等でおおわないでください。
火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

○器具のすきまや放熱穴等
に金属類を差し込まない
でください。



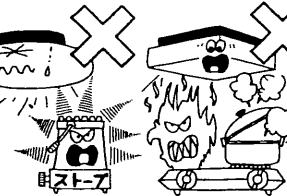
感電・故障の原因になります。

○点灯中および消灯直後は
器具やランプが高温にな
っていますので素手で触
らないでください。



やけどの原因になります。しばらくしてから取り
扱ってください。

○器具の下にストーブ等の
高温のものを置かないで
ください。また、燃えや
すいものを近づけて使用
しないでください。



火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

○シンナーやベンジン等の揮発性
のもので拭いたり、殺虫剤を
かけたりしないでください。



変質・故障の原因になります。

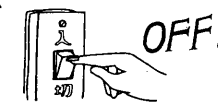
○器具やランプに着色等をしないでください。
焼損・過熱・故障の原因になります。

○器具をまるごと水洗いしないでください。
感電・焼損・故障の原因になります。

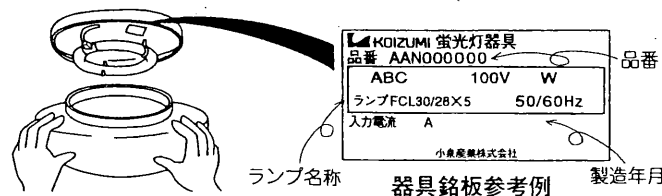
○ランプ交換の際、ランプホルダーやランプ支持バネ
を強く弾かないでください。
ランプの破損・けがの原因になります。

○多灯用器具は間引き点灯しないでください。
過大電流により、安定器の短寿命の原因になります。

△お手入れやランプ交換の時は必ず
電源を切ってから行なっ
てください。



通電のまま行なうと、感電の原因になります。

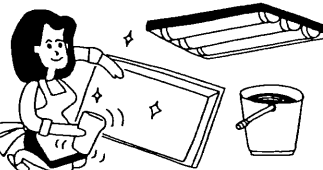


△器具から煙が出たり、変な臭いがしたときは、速
かに電源を切ってください。

放置しますと火災・落下・けがの原因になります。
工事店・電器店にご相談ください。

△ランプ交換の際は、必ず器具表示および取扱説明書
の指定の種類・ワット数のランプをご使用ください。
間違った場合、火災・やけど・故障・変形・変色の原
因になります。

△器具の汚れは乾いた柔ら
かい布、または中性洗剤
を浸透させた柔らかい布
をよく絞ってから拭き取
ってください。



感電・焼損・故障の原因になります。

△点検・清掃時には、接合部にゆるみおよび器具やラン
プに損傷等がないかを確認してください。

異常がありましたら、購入店にご相談ください。

△環形蛍光ランプの場合、ランプの大きさを間違わな
いようにソケットに取付けてください。
間違った場合、過熱・ランプの短寿命の原因にな
ります。

△環形蛍光ランプの場合、口金は多少動くように作ら
れています。

無理に回すと、ランプの破損の原因になります。

△ランプの端部が黒ずんだり暗く感じたら、お早めに
ランプ交換を行ってください。



照度のことを考えますと、経済的であると言え
ます。

△点灯および消灯後に音が発生する場合があります。
熱による器具構成材料の収縮音です。ひどい場合
は購入店にお申し出ください。

△器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑
音が入る場合があります。

器具と音響製品を離してご使用ください。

△器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場
合、誤動作することがあります。

器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。

△ランプが点滅を繰り返す等、正常に点灯しない場合
は、直ちに電源を切りランプを交換してください。
放置しますと、焼損・過熱・故障の原因になります。

KOIZUMI

蛍光灯直付器具

品 番 AHN335090・335214・436259・436262
VHN336139

NC18-322 MS



- ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。
- 器具の取付工事は、必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。
一般の方の電気工事は、法律で禁止されています。
- ご使用後廃棄される場合は、清掃回収者への安全面に十分配慮して処理してください。
- 工事店様・電器店様へ...工事終了後、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

■取付前に必ず確認してください

警告

- この器具は非防水です。湿気の多い場所や水のかかる場
所では使用できません。
→火災・感電・絶縁不良の原因になります。
- 異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの
影響を受ける場所では使用できません。
→火災・感電・落下・錆びの原因になります。
- サウナ風呂等の高温場所では使用できません。
→火災・焼損・やけどの原因になります。
- 指定のランプ以外は使用しないでください。
→焼損・過熱・変色の原因になります。
- 器具やランプを布や紙等でおおって使用しないでください。
→火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。
- 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないで
ください。
→感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。
- ランプ外管が割れた場合は絶対に点灯しないでください。
→感電の原因になります。
- 電源の接続は取扱説明書に従って確実にこなってくださ
い。
→接続が不完全な場合、故障の原因になります。
- 器具の取付けは器具重量に耐える場所に取扱説明書に従
って確実にこなってください。
→取付けに不備があると落下・けがの原因になります。

注意

- この器具は屋内専用器具です。屋外や屋側では使用でき
ません。
→火災・感電・故障の原因になります。
- この器具は天井取付専用器具です。壁等には取付けでき
ません。傾斜天井に取付ける場合は45°以内までにして
ください。
→落下・焼損・過熱の原因になります。
- 白熱灯用調光器(コントローラ)は使用できません。
→器具や調光器の焼損・過熱・故障の原因になります。
- 寒暖の差の激しい場所では使用しないでください。
→感電・絶縁不良・ランプ破損・器具内部の結露の原因
になります。
- 点灯中及び消灯直後は器具やランプが高温になっていま
すので素手で触らないでください。
→やけどの原因になります。
- この器具は周囲温度5℃~35℃、湿度45%~85%の中
で使用してください。
→高温・高湿の場合は焼損・過熱・故障・変形・変色の原
因になります。低温の場合、蛍光灯は暗くなったり
点灯しないことがあります。
- 器具の定格電圧と電源電圧を必ず確認してください。
→間違って器具に過電圧を加えた場合、ランプや安定
器等の短寿命及び火災・過熱の原因になります。
- 器具に注意シールが貼り付けされている場合はその指示
に従ってください。
→守っていただかないと火災・感電・落下・けが・故障の
原因になります。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入
る場合があります。
→器具と音響製品を離してご使用ください。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、
誤動作することがあります。
→器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 点灯及び消灯後に音が発生する場合があります。
→熱による器具構成材料の収縮音です。ひどい場合は
購入店にお申し出ください。
- 点灯中ソケットからランプを抜いたり差したりしないで
ください。
→保護装置が働き、再点灯しないことがあります。

この取扱説明書のマークについて SAFETY INFORMATION

警告 説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。
WARNING A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.

注意 説明書中の「注意」は器具破損の原因になる危険を示します。
CAUTION A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.



このマークのついている説明文
は必ず守ってください。
KEEP THE NOTICE WITH THIS
MARK.



このマークのついている説明文
は特に注意してください。
BE CAREFUL THE NOTICE WITH
THIS MARK.

商品のお問い合わせは.....フリーダイヤル 0120-5123-02

修理・アフターサービスのお問い合わせは.....(電話番号は変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)

●北海道サービスセンター ☎011(813)4297 ●神奈川サービスセンター ☎0463(95)8008 ●関西サービスセンター ☎0729(85)5521
●東北サービスセンター ☎022(236)4272 ●中部サービスセンター ☎0568(75)5931 ●岡山サービスセンター ☎086(298)3496
●関東サービスセンター ☎0489(28)4381 ●北陸サービスセンター ☎0762(49)3205 ●広島サービスセンター ☎082(249)1018
●九州サービスセンター ☎092(622)4010

小泉産業株式会社

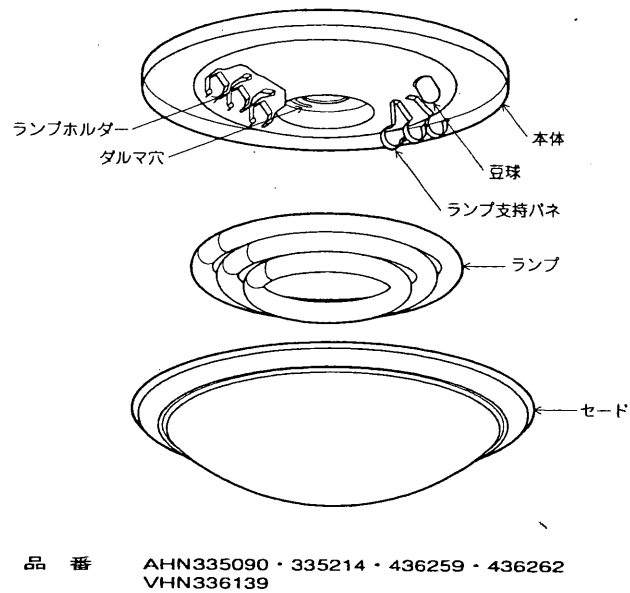
照明事業本部 〒579-8025 大阪府東大阪市宝町12-8 ☎0729(86)5054

裏面も必ずお読みください。

このたびはコイズミ照明器具をお買上いただきましてまことにありがとうございます。

■各部の名称 (この図は一部抽象化した共通部品図です。)

△ 部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



■取付けの際に特に守ってください

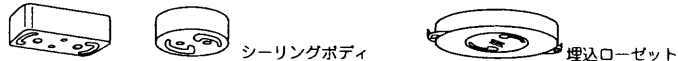
△ ネジ止めのご注意

○ベニヤ板等の強度の弱い箇所、使用後のネジ穴には取付けないでください。
・器具の落下の原因になります。

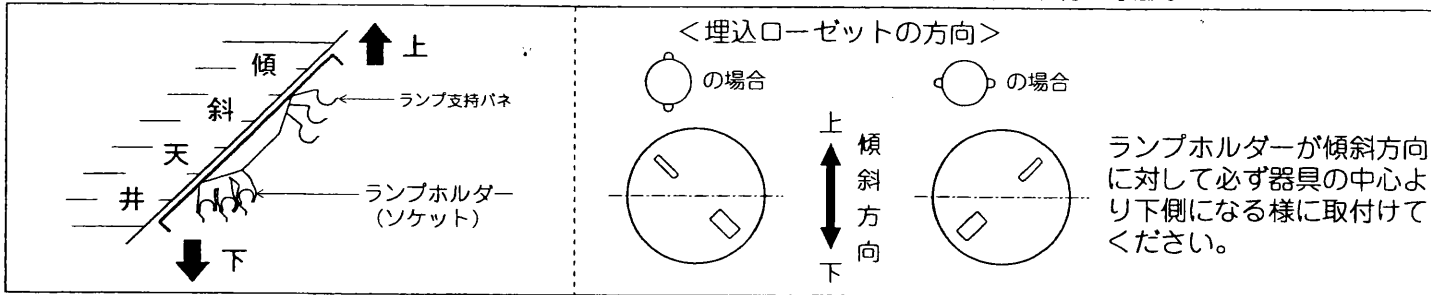


△ 電気工事

○素人工事は危険です。工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。
・天井面に下図の電気引出口部品が付いている場合は電気工事の必要はありません。



△ 傾斜天井に取付ける場合、下図の通り本体を取付けてください。指定方向以外の取付け禁止。



■取付順序と操作方法

○ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。

△必ず取付順序にしたがって取付けてください。取付けに不備があると、落下・けが・過熱の原因になります。

① 埋込ローゼットが天井に付いている場合、埋込ローゼットに本体を合わせてください。	シーリングボディが天井に付いている場合、取付金具をシーリングボディに合わせて取付けてください。取付金具に本体を合わせてください。	② 本体のダルマ穴に本体止めネジを合わせて本体を回転させ、本体止めネジを締め付けてください。
③ 電源の接続が埋込ローゼットの場合は、シーリングキャップを埋込ローゼットにはめ込んでください。	電源の接続がシーリングボディの場合は、シーリングキャップをシーリングボディにはめ込んでください。	④ ランプマークが下側になるようにしてランプ支持パネに取付けてください。ランプホルダーに確実に差し込んでください。 ●ランプは本体の中央に位置するように取付けてください。 △ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。破損・落下の原因になります。

取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。また、不明な点は必ずお問い合わせください。

⑤ 本体とセードの取付位置を合わせてまっすぐに持ち上げて確実に取付けてください。	△ 点灯状態がおかしいときはすぐに工事店・電器店に連絡してください。素人工事は危険です。	セードの取外しは両手でセードを支えながら右あるいは左に止まるまで回してください。セードを静かに両手でおろしてください。				
⑥ 電源を入れて、点灯を確かめてください。壁スイッチをOFF→ONと約2秒以内に連続操作するだけで明るさの切り替えができます。 全灯→全灯段調光→豆球	⑦ 壁スイッチ(プルレススイッチ)の点灯方法 壁スイッチ(プルレススイッチ)→約2秒以内の壁スイッチ(プルレススイッチ)のOFF→ONにより 全灯→全灯段調光→豆球 と順送りが可能です。どの点灯状態からでも壁スイッチをOFFにすると消灯します。	⑧ 壁スイッチ(プルレススイッチ)操作手順 <table border="1"><thead><tr><th>点灯方法</th><th>点灯状態切替方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>壁スイッチON</td><td>OFFにする ONにする</td></tr></tbody></table>	点灯方法	点灯状態切替方法	壁スイッチON	OFFにする ONにする
点灯方法	点灯状態切替方法					
壁スイッチON	OFFにする ONにする					

■器具のお手入れ

○ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。

△必ず電源を切ってから行なってください。感電・やけどの原因になります。

△点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため危険です。しばらくしてから行なってください。

△安全に使用していただくために、約6ヶ月ごとに清掃・点検を行なってください。

■故障ではありません

△ランプが寿命になりますと保護回路が働き全てのランプが突然消灯したり、暗くなったりしますが故障ではありません。寿命になったランプを交換し点灯し直せば正常に点灯します。

やけどのおそれあり 点灯中や消灯直後のランプにさわらないでください。	(1) ランプの交換方法 ① 電源を切ってから行なってください。 ② セードを■取付順序の⑤を参考に取外してください。 ③ ■取付順序の④を参考にランプを交換してください。(指定ランプは器具銘板をご確認ください。) ④ 豆球の交換は左に回して取外して、交換してください。 ⑤ セードを■取付順序の⑤を参考に取付けてください。 (2) セードのお掃除 ① 電源を切ってから行なってください。 ② セードを■取付順序の⑤を参考に取外してください。 ③ 乾いた柔らかい布等でセードの汚れを拭き取ってください。 ④ セードを■取付順序の⑤を参考に取付けてください。
--	--

■器具の寿命について

照明器具には寿命があります。専門家(工事店・電器店)による器具の点検(3～5年に1回)を行なってください。ランプ(電球)を交換しても暗いと感じたり、器具の汚れが落ちにくくなったり、部品交換による修理が不能となったときは専門家に相談し、不具合がありましたら適切に処置してください。